

## 不審者対応訓練

今日、丹波警察の方々にお世話になり不審者対応訓練を実施しました。訓練のねらいは2つです。1つは学校敷地内に不審者が侵入した場合、児童が安全に避難できるように教職員が組織的に適切かつ迅速な対応できるようにすること。もう1つは、緊急事態が発生した時、児童に安全な避難行動について理解させることです。つまり、今回の訓練は、不審者に対応する先生方の訓練でもあり、不審者に会わないように安全に逃げる子ども

たちの訓練でもありました。

不審者役は警察の方にお世話になりました。玄関先で不規則な言動を繰り返す方に声をかけた教員が、危険を感じ職員室に向かって大声で助けを叫ぶところから訓練は始まります。職員数名で刺股や棒など用いて、不審者役の方を子どもたちから遠ざけたり、壁際に押し付けて身動きできないようにするのですが、力いっぱい抵抗したり、刃物で職員の腕を切り付けようとしたりされますので、通





報を受けた警察の方が来られるまでの時間、対応するのは大変なことでした。

子どもたちは、不審者を直接目にする事なく、避難をすることができました。後の講評では、避難する際に「おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない」



ができたか、一人ひとり手を挙げて自己評価をさせました。火災・不審者・地震と避難訓練は年間3回、卒業までの6年間で18回経験することになります。こうした限られた訓練でしっかりと力を高めさせるには、いい

加減な振り返りをさせないことが重要と考えます。「無駄なおしゃべりをしなかった人」と尋ね、今回は手を挙げなかった子が、自分を厳しく評価し手を挙げなかったことを褒めました。今回は手を挙げなかった子たちが、次の訓練でどんな自己評価をするか楽しみにしたいと思います。

また、業間の時間を利用して、警察の方と職員による振り返りと刺股を活用した対応方法を学びました。

丹波警察の皆様、ありがとうございました。